

日本人と自然の関わりコース

日本列島の自然の豊かさと人々の暮らしの深いつながりをテーマにします。各展示室に配置してあるコラム展示とあわせて見ることによって、日々のなにげない暮らしの中にある日本人と自然の関係が見えてくる。

スタート

1

1F南

Ⅶ 自然をみる技

→①日本の暦の移り変わり→★「月の大小を知らせる大小暦」→★「災いを笑いに変えた鯉絵」→⑦不定時法と和時計→★「旅先で時間を計る携帯用日時計」→⑨好奇心から生まれる科学の眼→★「顕微鏡が生んだデザイン」

2

2F北

Ⅳ 日本人と自然

→★「世界最古の落とし穴」→★「縄文と弥生の食生活」→★「縄文時代の手厚い介護」→⑩日本人が開発した自然→★「地衣類を食べる日本人」→⑪持ち込まれた生き物たち→⑫追われる生き物たち→⑬日本人が育んだ生き物たち→⑮稲作に伴う環境の変遷→⑯イネと技術の発展

3

2F南

Ⅲ 生き物たちの日本列島

→★「渡り鳥が知らせる麦まきの時期」→★「毒にも薬にもなる植物 トリカブト」→★「マングースVS.ハブ VS.アマミノクロウサギ」→★「害獣供養 鹿踊り」

4

3F北

Ⅱ 日本列島の生い立ち

→★「日本庭園を飾る付加体の岩石」→★「日本の産業を支える石灰岩」→★「太古の森から生まれた宝石 一琥珀」→★「日本海といっしょに生まれた資源」→★「海から出てくるナウマンゾウ化石」

5

3F南

Ⅰ 日本列島の素顔

→★「泥で染める」→★「初鯉と戻り鯉」→★「昆布のはるかな道」→★「古代の贈り物で作る七輪」→⑫日本列島の地質(地球号)→★「日本人の名前がついた鉱物」

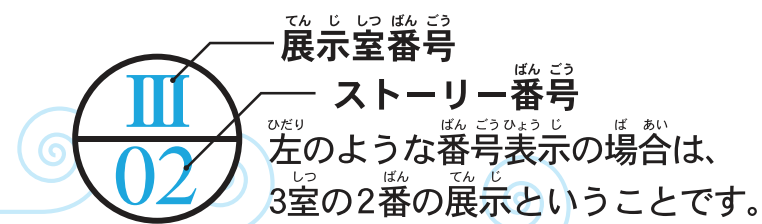
この小さなガラスケースが
コラム展示だよ!

★コラム展示とは?

自然と人々の暮らしとのつながりをひと味違った面から理解できる楽しい展示です。

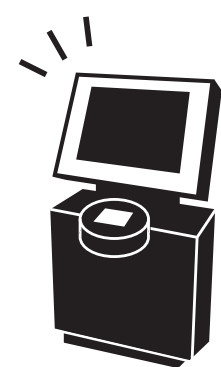


日本館では、展示ケースやパネルの上に下図のような番号がふってあります。パンフレットに示した展示番号を探しながらまわってください。



かはくボランティア

わからない事は、
わたしたちに気軽に
聞いてください。



館内各所にある
キオスク(展示情報端末)や
かはくナビ・音声ガイド
(有料:320円)で
研究者の解説を聞いてみましょう。

音声ガイド
貸し出し中!

MEMO

科博に来た日 年 月 日 曜日 天気

日本館おすすめコース

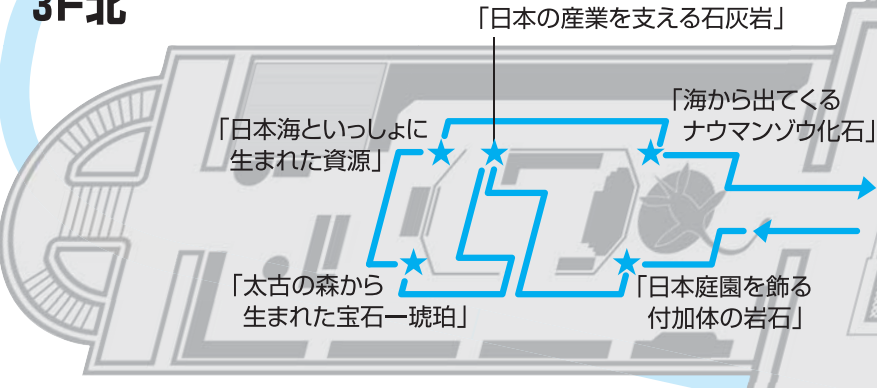
日本人と自然の 関わりコース



独立行政法人
国立科学博物館(上野公園)
http://www.kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

日本人と自然の関わりコース

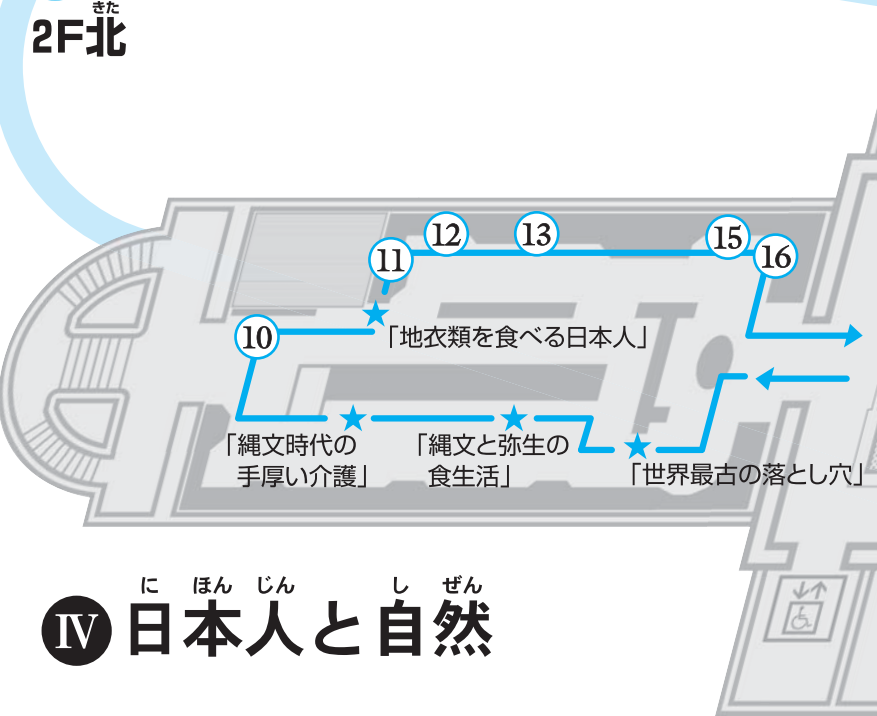
4
きた
3F北



Ⅱ 日本列島の生い立ち

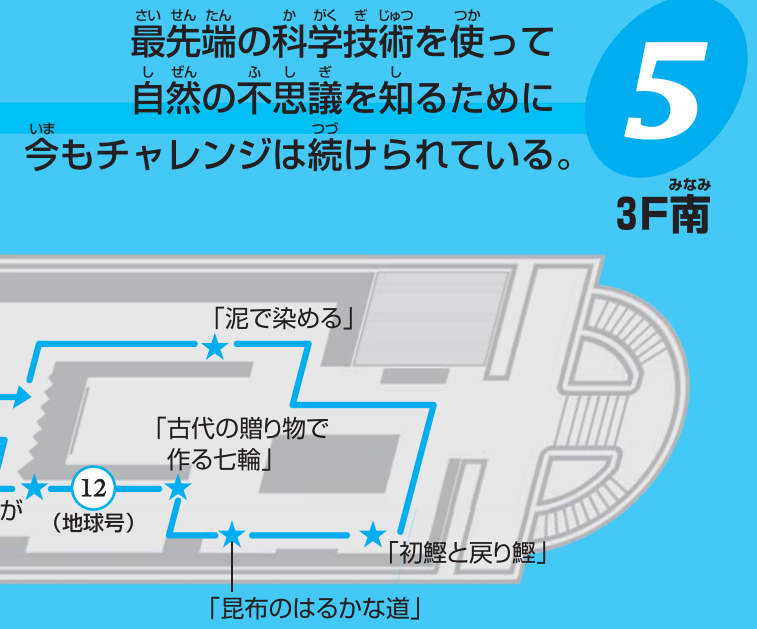
2
きた
2F北

日本人がどのように自然に影響を与えてきたのか。
生き物たちとどのようにつきあってきたのか。
ハチ公やジロにはここで会えるぞ！



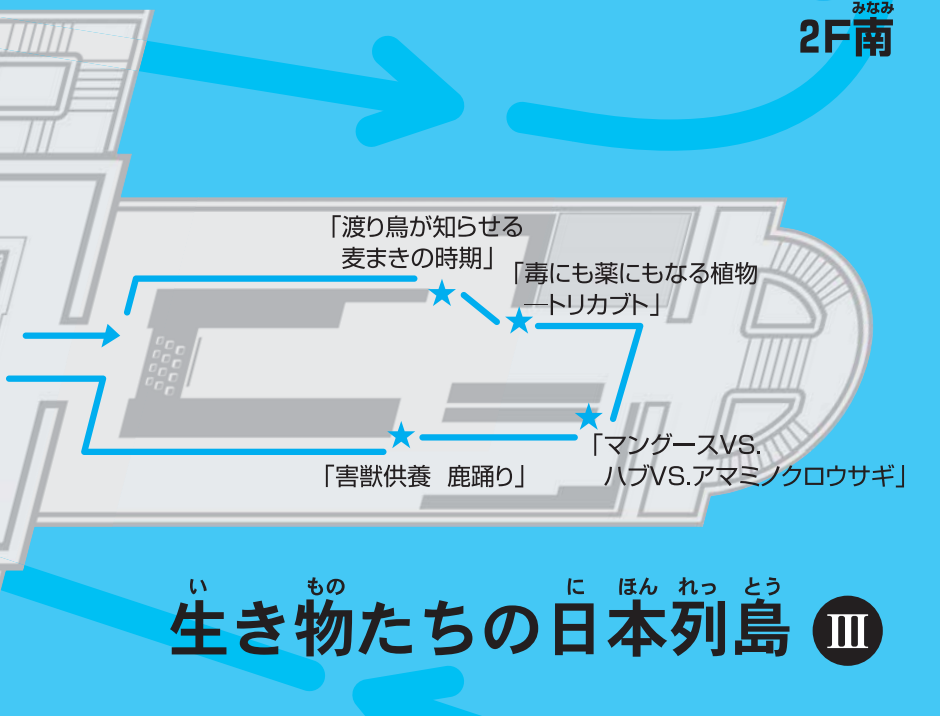
Ⅳ 日本人と自然

5
みなみ
3F南



Ⅰ 日本列島の素顔

3
みなみ
2F南



Ⅲ 生き物たちの日本列島

スタートは1Fから！

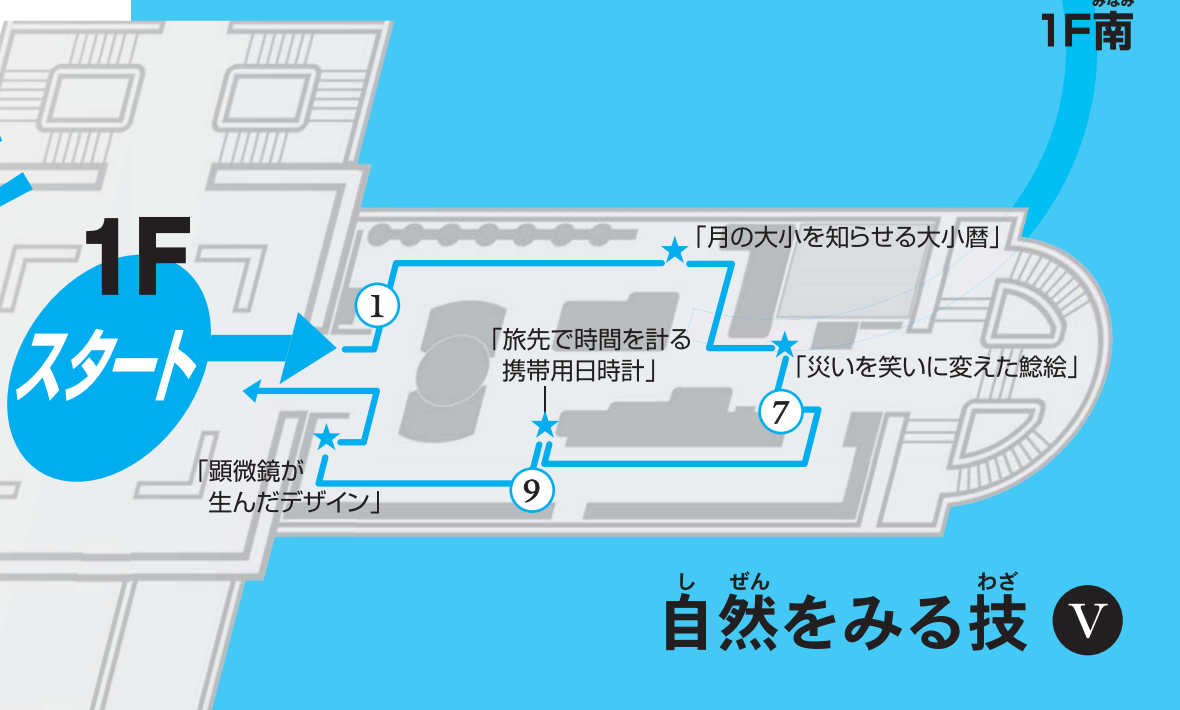
○内の数字はストーリー番号
★はコラム展示

1
みなみ
1F南

昔の人は、このようにして自然の現象をとらえていたんだ。
今の私たちとくらべてみよう！

日本館は、昭和3
(1928)年4月に着工し、昭和
5(1930)年12月に竣工しました。
文部大臣官房建築課の設計によるネオ
ルネッサンス様式を基調とした建物で、
当時の科学技術の象徴であった飛行機型
のデザインとなっています。

1F
スタート



Ⅴ 自然をみる技